

# がん免疫療法の誕生

科目責任者 杉 本 智 恵  
学年・学期 1 学年・2 学期

## I. 前 文

「がん免疫療法の誕生-科学者25人の物語」はサイエンスライターががん免疫療法を開拓した研究者25人にインタビューした内容に基づいて書かれた読み物です。本コースではこの本の中から近年脚光を浴びている「キメラ抗原受容体」に着目し、関連する研究者をピックアップして物語を読んでいきます。それと同時に、がんにおける再生医療と免疫に関する基礎知識を少人数の対話方式で学びます。さらに生体防御研究部門で行なっている最新の研究成果を紹介し、生命科学研究について学びます。

## II. 担当教員

准教授 杉 本 智 恵 (生体防御研究部門)  
教 授 若 尾 宏 (生体防御研究部門)

## III. 一般学習目標

1. がん, 免疫, 再生医学の基礎を学ぶ。
2. 医学研究者の考え方を知り, 医学を学ぶことへのモチベーションを高める。

## IV. 学修の到達目標

1. 自分の考えを自分の言葉で表現できる。
2. 基礎医学を学ぶことの意義を理解できる。
3. 医師としてのキャリアプラン, ロールモデルをイメージできる。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ, 知識確認等の要素を教室で行う授業形態))  
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション  
6: その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブラーニング
1	8	21	水	5	本コースの概要と授業の進め方についてのガイダンス	杉 本 智 恵	1, 2
2		28	水	5	がんと免疫	杉 本 智 恵	1, 2, 3
3	9	4	水	5	がんにおける再生医療と生体防御研究部門における研究紹介	若 尾 宏	1, 2
4		11	水	5	がん免疫療法の開拓者 (1) Drs. Zelig Eshhar and Patrick Hwu	杉 本 智 恵 若 尾 宏	2, 5
5		25	水	5	がん免疫療法の開拓者 (2) Drs. Carl June and Michel Sadelain	杉 本 智 恵 若 尾 宏	2, 5
6	10	2	水	4	がん免疫療法の開拓者 (3) 学修したポイントの確認	杉 本 智 恵 若 尾 宏	2, 3, 5
7		2	水	5	がん免疫療法の開拓者 (4) 学修したポイントの確認	杉 本 智 恵 若 尾 宏	2, 3, 5

## VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

各回の課題または発表 (50%), 出席状況と積極的な授業への参加 (50%)

Ⅶ. 教科書・参考図書・AV資料

「がん免疫療法の誕生-科学者25人の物語」(メディカル・サイエンス・インターナショナル)

Ⅷ. 質問への対応方法

基本的に講義時間内で対応します。

Ⅸ. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料、情報通信技術( ICT )などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	◎
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	◎
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	○
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○

X. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

各回のディスカッションの中で、フィードバックを与えます。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

ピックアップした研究者の物語(10ページ程度)を読む、指定した課題を調べる、など各回30~60分程度

XII. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01

LL-01-01-01

RE-01-01-02, -01-02-01, -01-02-02, -02-01-01

PS-01-03-18, -01-03-30, -01-04-24, -03-04-25